



Twelve Minds in One

東京都社会福祉事業団

12のキモチをひとつに

Philosophy

東京都社会福祉事業団が掲げる3つの理念、
「利用者本位のサービスの徹底」、「東京の福祉
のセーフティネットとしての役割」、「地域福祉の
向上への貢献」を実現するのは一人ひとりの職
員に他なりません。豊かな人間性と幅広い経験、
そして支援に必要な専門知識を身に付けていく、
自分らしい福祉のキャリアを歩みませんか。

一人ひとりに
寄り添う

入所する障害者や児童が安全かつ安心して日常生活を送れるように環境を整えるとともに、一人ひとりが「自分らしさ」を表現できるように個人を尊重し、気持ちを汲み取った支援サービスで寄り添います。

東京の福祉を
守る

特別な支援が必要な障害者や児童を施設機能に応じて受け入れるために、地域の教育機関や医療機関などと連携・協働していくことで、東京の福祉のセーフティネットとしての役割を果たします。

地域福祉の
連携&向上

東京都全体の支援ニーズに対応し、支援の必要な障害者や児童を広域的に受け入れます。同時に、地域に根ざした福祉施設として専門機能を活かしながら、立地するエリアの支援ニーズに応じていきます。

福祉のセーフティネットで 寄り添っていきます

**誰もが享受できる健康で文化的な生活を、
私たちは提供していく使命があります。**

憲法第25条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」は、国民の全員が対象であり、その権利を得られない状況にある人には、社会保障制度によって対応することになります。東京都社会福祉事業団は、東京都に居住する身体障害者や知的障害者、さらには様々な事情で家庭の養育を受けられない児童を対象に、この社会保障を提供する機関として設立。誰もが安全・安心な生活を送るためのセーフティネット(安全網)として、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。

東京都・千葉県・神奈川県の一都二県にまたがり、児童養護施設及び障害施設を運営しています。

児童養護施設



様々な事情から家庭で生活することができない概ね2歳から18歳までの子どもたちを預かり養育し、健全な成長と自立を支援します。あわせて、退所した子どもたちに対する相談などその後の支援も行います。

障害者支援施設



18歳以上の身体障害者や知的障害者が障害の程度に応じて利用しています。食事や入浴の介助などの日常生活における支援を行います。また、利用者の状況に合わせて課題解決や日中活動、園外へ通所、就労移行支援等を行っています。

頼られるセーフティネットになるべく、 職員の一人ひとりが成長に挑んでいます。

東京都社会福祉事業団は、すべての利用者に対する質の高いサービスの提供や、一人ひとりの意思・個性を大切にした支援を行います。そのために、事業団の職員は、充実した教育研修体制の中で自分の専門性を高めていくことを目指します。

福祉型障害児入所施設



18歳未満の知的障害児童を受入れ、日常生活における生活支援を行うと同時に、将来の自立に向けた訓練を行います。また、行動障害の軽減及び調和のとれた発達を図るための支援も行います。



社会福祉法人
東京都社会福祉事業団

入職動機

仙台の大学の総合福祉学部在籍中、首都圏で働きたいと考えていたこともあり、東京都社会福祉事業団出身の大学教授の紹介で事業団と出会う。内定後施設見学を重ね、魅力を感じた児童養護施設とめぐり違い、希望施設への配属が叶った。入職後社会福祉士の資格を取得し、念願の福祉職としてスタートをきることができた。

勤務先：片瀬学園

職 種：福祉（一般職員）

経 歴：2024年4月入職

杉村 里彩
RISA SUGIMURA

子どもとの間の壁を乗り越える努力を続け、
信頼されていると伝えられた時は感動しました。

夜中に泣く子どもの心情を、 自分ごととして捉える必要に気づく。

入職当初は自分の未熟さに肩を落とすばかりでした。夜勤の時に利用者の思春期の女の子が、過去のトラウマを思い出して夜中に泣き出すことが度々ありました。私は「大丈夫よ」と声をかけるしかできません。そして、その意図を十分に伝えることが難しく、感情を落ち着かせることができなかったのです。私は自分のこととして考えていない姿勢を反省し、一緒に同じ気持ちを意識して会話をしていくと、彼女は徐々に落ち着いて話をしてくれるようになりました。そして先輩から「彼女はあなたを信頼してくれてるよ」と聞いた時、自分がこの仕事の第一歩をようやく踏み出せたと感じたのです。



社会人は独りで何でもすると誤解 ここには必ず助けてくれる仲間がいる。



この施設に入所している子どもたちにはいろんな背景があります。それぞれに合った対応は簡単ではありません。でも、ここには心強い仲間がたくさんいます。親身に指導してくれるチューターの先輩以外にも、周囲の先輩方全員が1年目の私を見守ってくれるのを感じます。片瀬学園に同時配属された同期9人の存在も大きいですね。定期的に話をして励まし合っています。他の施設の同期ともLINEでやりとりしています。そうして毎日の仕事を前向きにより良くしようと奮闘していたら、いつしか子どもたちと自然に打ち解けている自分に気づきました。

OFF

地元カフェの常連さんとおしゃべり。
湘南の海に沈む夕陽も最高です。

施設のある片瀬や近辺の江ノ島、藤沢には居心地の良いカフェが多く、休日になると足を運んでリラックスしています。店主や常連の方とも打ち解けて、おしゃべりが弾んでいます。早番の後は近くの海岸に出て散歩します。夕陽がとても綺麗で最高の場所です。



入職動機

高校はベルギーのインターナショナルスクール。欧州は福祉社会で、週に一回はボランティアで様々な支援施設を訪問していた。それがきっかけで大学は福祉学科に進み、就職活動時は児童施設で働きたいと考えて入職した。

勤務先：希望の郷 東村山

職 種：福祉（一般職員）

経 歴：2022年4月入職

高山 恵
MEGU TAKAYAMA

チューターや先輩からの親身なサポートが、利用者にも真正面から向き合う力になります。

重度の障害者の生活支援を担当。利用者の明るさに助けられます。

高校時代に留学したベルギーでは、ボランティアで障害者や要生活支援者と触れ合う機会が数多くあり、福祉の仕事がしたいと思うようになりました。そんな私が配属されたのは、重度の知的障害や自閉症、てんかん発作や身体に障害のある最重度の障害の女性利用者を支援するユニットです。入職直後は、利用者との意思疎通がスムーズに取れないことに戸惑うばかりでした。それでも、利用者のみなさんが、明るく一所懸命にご自分の意思を伝えようとしてくれる姿に応えたいという気持ちが、私を前に向かせてくれています。



チューターからの手厚い指導と、先輩たちのアドバイスで前進！



もっと学んで、もっと利用者の気持ちに応えたい。この思いが入職していっそう強くなったのは、先輩たちが親身になって私の成長を後押ししてくれたからです。こんな時はこうした方が良いよ…などと、一緒に働くどの先輩も、私の表情を見てすかさずアドバイスをくれます。特に私のチューター役を務めてくれた3年目の先輩は、常に気にかけて、手厚く丁寧に指導してくれました。私は一人ではない。助けしてくれる仲間も、私を必要とする利用者もいる。今では利用者と心が通じ合ったと思える瞬間も、たくさん感じられるようになりました。

OFF

ケーキづくりに没頭することで、オンとオフを切り替えています。

休日は仕事のことを忘れ、しっかり気持ちの切り替えをしています。友人と食事をするのが多いのですが、いま凝っているのがケーキづくりです。実家に住んでいるので調理器具には困りません。食材を買いに行くところから、どんなレシピでつくろうかと、わくわくします。



入職動機

保育士や幼稚園の教員を目指す保育専門学校の施設実習で、様々な福祉の仕事があることを知る。それからは、いろんな方の生活支援ができるようになりたいと考えるようになり、就職先も東京都社会福祉事業団に絞った。

勤務先：千葉福祉園

職 種：福祉（一般職員）

経 歴：2022年4月入職

遠藤 海渡
KATO ENDO

利用者の意思表示の微かな変化を見逃さず、心の通じた時に思わず嬉しくなります。

一人ひとりと接する時間の長い、福祉施設の職員を選んだ。

保育士の専門学校で学んでいた私は、自立した生活が難しい人々を救う社会のセーフティネットを担い、身体障害者や保護の必要な児童など様々な要支援者を受け入れている当事業団に就職したいと考えました。最大の決め手は、福祉施設は職員が利用者と1対1で向き合う時間が長いということです。一般の保育士は一人が30人ほどの子どもを見ますが、私たちは一人が一度にケアする利用者は多くても数名。それだけ濃密な時間を共有でき、自分の行なった支援の結果がダイレクトに分かりやすいので、頑張って取り組んだ時の手応えは大きいです。



利用者が思いを表現しやすいよう、工夫することで意思疎通はできる。



私が利用者の生活支援を担当する施設は、高齢で主に知的障害を持った方々が対象。食事や入浴といった日常の生活支援が主な職務です。入職1年目の私は利用者への対応で正解を模索する毎日が続きました。そんな私を、チューターをはじめとする先輩たちが手取り足取り指導してくれます。そのおかげで、最近は「もっと自信を持って良いいよ」と言われるようになってきました。利用者の気持ちを汲み取って、意思を表現しやすいように質問を変えてみたり、言葉が出るのを待ってみたり。そういった工夫が少しはできるようになったのかもしれない。

OFF

ロードバイクで動き回り、豊かな自然環境を満喫しています。

独身寮と勤務先施設を往復する手段としてロードバイクを買ったのですが、これが大正解でした。自然に恵まれた丘陵地にある千葉福祉園はサイクリングコースに恵まれ、休日になると遠出が楽しみです。先日は遠く離れた市川市の実家にもペダルを漕いで帰りました。



公務員志望だったが、なぜ自分は人の役に立ちたいかを考えた先に、小学生の時に高齢者施設で行ったボランティアの思い出が蘇った。そこから福祉の道に絞り、未資格の契約職員として入職し、正職員登用を目指した。

正職員登用に必要な資格の取得に向けて、
事業団全体が応援してくれました。

清久 茉実
MANAMI KIYOKU

勤務先： 立川療護園
はごろもの音

職 種： 福祉(一般職員)

経 歴： 2022年4月入職

未資格でも入職は可能。
働きながら学校に通わせてもらう。

就活を途中で公務員志望から福祉職に絞ったこともあり、当事業団を受けた時点では正職員入社に必要な保育士や社会福祉士、介護福祉士などの資格を取得していませんでした。救いだったのは、まずは契約社員雇用で働きながら資格に必要な知識を学び、晴れて合格後に正職員に登用されるという制度があることでした。それに私も挑戦することにしたのです。そして入職後、週に1〜2回、2ヶ月間にわたって特別休暇扱いで養成校に通わせてもらい、夏に介護職員初任者研修に合格。その後の内部選考にも通り、この春から正職員としての雇用が決まりました。



キャリアはスタートしたばかり。
憧れている先輩に追いつきたい。



次は実務者研修に挑み、近い将来に国家資格である介護福祉士を取得したいと考えています。ただ、資格は本当の目的ではなく、あくまでも仕事に必要なスキルを身につける手段の一つだと考えています。日々の仕事の中で学べることの方が、圧倒的に多いからです。そんな私に目標となる人ができました。重度の身体障害を抱える利用者をケアしている今のチームのチーフです。多くの経験を積んできた大先輩で、すごい量の仕事をこなしながら私の相談に親身になって対応してくれる器の大きさに憧れるようになり、少しでも近づきたいと思っています。

OFF

映画やカフェで休日を満喫するも、
健康には人一倍気をつけています。

いろんなジャンルの映画を見るのが好きで、休日は家でネット配信の映画も見ますし、映画館にも足を運びます。友人とカフェや食事を楽しみ、オンとオフを切り替えながらリフレッシュしています。



入職動機

短大で保育士を目指していたが、児童養護施設の実習で過去に問題を抱えている子どもたちの自立サポートに尽力する職員の姿に感動し、進路の変更を決意。大学の先生が東京都社会福祉事業団OBだったこともあり入職を選択した。

勤務先：希望の郷 東村山

職 種：福祉（ユニットチーフ）

経 歴：2020年4月入職

SAVAKA AOKI
青木 涼

利用者一人ひとりが発する表現を、
察知して、理解して、喜びを共有します。

意思の疎通ができたことを実感するたびに、
この仕事を選んでよかったと再認識。



「希望の郷東村山」は成人の重度・最重度知的障害者の支援施設です。利用者一人ひとり、コミュニケーションの取り方は様々で、独特の表情をしたり、母音だけで意思表示したり、指差しだけだったり、喜怒哀楽の表現が皆さん違います。でも、様々なサインが意味する内容は変わりません。ですから、その一つひとつを読み取って期待される対応を正確に返すと、とても喜んでくれます。私自身も意思が通じ合えたことでとても嬉しくなります。時には理解に苦労しますが、利用者の笑顔を見るたびにこの仕事を選んで本当に良かったと心から思います。

利用者16名のユニットリーダーとして、
先輩の経験や自らの気づきを後輩と共有する。



入職4年目の6月に、ユニットチーフを任されるようになりました。16名の利用者を17人のスタッフで支援する、利用者も職員も全員が女性のユニットです。もう一人のチーフはベテランで、教えてもらうことがまだまだたくさんあります。一方で、若手職員や入ったばかりの後輩も多く、私

の指導が期待されています。この仕事は利用者一人ひとり接し方が異なるので、情報の共有はとても大切です。私は先輩たちから受け継いだ利用者ごとの対応方法に加え、日々の仕事の中で気づいたことや意思疎通の成功体験などを後輩の職員たちに伝えていくことを心がけています。

OFF

同僚や後輩たちと、
ホームパーティーを楽しみます。

冬になると大学時代の友人たちとスノボを楽しんでいますが、通年では居酒屋や家で同僚や後輩たちと楽しむ食事会です。最近は自宅に仲間を招いて鍋パーティーを開くことが多いですね。同期とは特に仲が良く、仕事上の相談や励まし合いで明日への英気を養っています。



入職動機

幼児教育を学んでいた大学時代に、実習生として現在の勤務施設である片瀬学園で養護施設の現場を経験。そこで子どもと触れ合う仕事の楽しさとやりがいを実感し、自立支援コーディネーターからの誘いもあって入職した。

勤務先：片瀬学園

職 種：福祉（チーフ）

経 歴：2012年4月入職

彦坂 義大
YOSHIHIRO HIKOSAKA

3施設で様々なチームを経験してきた中で、
自分の目指すチーフ像が見えてきました。

様々な施設を経験することで、 福祉のキャリアが充実していく。

新卒で入職して10年。最初の配属が八王子福祉園でした。そこで最重度の知的障害者のケアを任されました。5年目に現在も勤務する児童養護施設の片瀬学園に異動し、去年の1年間は七生福祉園で中度と軽度の知的障害者へのケア業務等に従事しました。そして再び片瀬学園に今度はチーフとして戻ってきました。12の施設があり、こうした多様な経験のできるのが当事業団の魅力です。それぞれの場所で異なる学びや気づき、苦労や感動があるから、充実した福祉のプロのキャリアを歩めます。人脈も広がり、お互いをよく知る仲間が増えるのも嬉しいですね。



辿り着いたのは意見の言いやすい 職員全員参加型のチーム運営。



複数の施設を経験し、幾つものチームに所属してきたおかげで、その時々でお世話になったチーフから様々なチーム運営を学べました。そうした中から自分が目指すチーフ像が見えてきました。それは、チーム内の職員の誰もが自由に意見できて、その中から良い案を採用していくといった、みんなで考えるチームのリーダーであることです。そのため8人の子ども（小学生から高校生）を4人の職員で見ている今のチームでは、ミーティングや文書の回覧を積極的に行っています。そして、このチーム運営が子どもたちにとってもベストであると実感しています。

OFF

いつものトレーニングジムで、
バーベルと格闘して鍛えています。

休日はトレーニングジムで汗を流しています。ベンチプレスの大会にも出ていて、現在の記録は142.5kgです。福祉の仕事はすぐには結果が出ないものですが、スポーツは練習やトレーニングの成果が目に見えて出るので、オンとオフのメリハリがつけられて良いですね。



PERSONS



入職動機

前職は民間の知的障害者支援施設の福祉職員。福祉系の大学時代の友人の紹介で、東京都社会福祉事業団に転職した。職員への人材育成が手厚いことが理由。またキャリア採用枠で入職することで、これまでの経験を活かしながら支援業務や人材育成に従事できると考えた。

勤務先：八王子福祉園

職 種：福祉（一般職員）

経 歴：2021年7月入職

SHUNSUKE NAGATA
長田 隼輔

職員同士の絆を深めることで、利用者にとって
実りのある支援の実現を目指しています。

利用者に人生を楽しんでもらう
そのお手伝いに喜びを感じている。



私が配属されている八王子福祉園は重度・最重度の知的障害者を支援する施設です。担当する定数15名のユニットでは、医療的ケアが必要な利用者を15名の職員で支援しています。利用者のほとんどに医療的支援が必要で、腹部から管を通して胃に栄養剤を送り込む胃ろうや、有資格者により吸引装置を使用して口腔内や鼻腔内の喀痰吸引などを行っています。それでも利用者の皆さんは生きる力に満ちており、活動プログラムのろくろを回して行う本格的な陶芸や、園外のドライブではいつも楽しそうな表情を見せてくれます。そのたびに強いやりがいを感じています。

誰もが一人で支援できないと分かっている。
それゆえ、一人で抱え込む状況は訪れない。



施設では毎日のローテーションによって利用者の担当職員が交代していきますが、職員同士のコミュニケーションがうまく取れていないと、利用者への支援活動全般がスムーズに進みません。些細な情報であっても、共有することが大切です。当事業団は充実した研修が整備されていますが、自分たちで職員間のコミュニケーション研修などを企画して本部に依頼し実施することもあります。皆でやっていくことで、チーム内の人間関係はとても良好です。支援は自分一人ではできませんが、仲間と助け合うことで質を大きく向上させられるのです。

OFF

美味しい食事を楽しむグルメドライブは
長距離も厭いません。

グルメ好きの友人と車で美味しい店を巡るのが何よりの楽しみです。都内だけではなく、静岡や千葉、群馬、愛知にも行きます。最近は茨城県の大洗まで足を伸ばし、あんこう鍋を楽しんできました。高級店ばかりではなく、人気のラーメン屋さんの列にも並びます。



入職動機

児童障害福祉を専攻した短大を卒業し、新卒で入職したのは民間の児童養護施設。そこでは大規模施設の効率的な運営に違和感を覚え、3年経って子どもの成長を後押しする手厚い支援姿勢を掲げる八街学園に転職を決めた。

若林 美津紀
MIZUKI WAKabayashi

子どもたちが心から望む未来の扉を開く、
進学に関する重要なお手伝いを担っています。

抑えていた進学意欲を引き出し、 合格に向けて全面的にサポート。

八街学園は、家庭での養育が難しい、あるいは虐待された子どもを保護し、自立まで生活をサポートしています。私は、そうした子どもたちに、自立支援コーディネーターという役割で接しています。この職務は進路に関する悩み相談に乗り、将来の目標に沿った進学先と一緒に探し、時には志望校の見学に同行し、奨学金の活用手続きも手伝います。児童養護施設の子どもたちは、自分の可能性を追いかける意欲が薄く、経済的にも進学への夢を諦めがちです。でも、今は社会的な支援で十分に可能。励まし、抑えていた夢を引き出せるような支援を心がけています。



2度の産休と育休を経ながら、 キャリアを前進することができた。



子どもたちの日々の生活をサポートする寮職員として入職した私は、結婚し、2度の出産を経て、現在は2児の母です。1回目の出産時には併せて1年半の、2回目の出産時には1年間の出産休暇と育児休暇を取得しました。2人目の育休復帰からしばらく経って生活サイクルが安定しやすい日勤業務に配置してもらったことで、子どもの急な体調不良や節目の行事などの時も、充実した育児支援制度を使いながら仕事を続けることができました。子育ても一段落したこともあり、昨年から専門性が求められる自立支援コーディネーターに抜擢され、児童養護職員のキャリアを前進させることができました。

OFF

今は土日が休日なので、
子どもと外で遊んでいます。

土日が休みということもあり、子どもと接する時間が多いですね。上の子は小学3年生になったので友だちと外で野球やサッカーをしています。年長組の下の子は自転車に乗れるようになったので、一緒にスーパーまでちょっとしたサイクリングなどを楽しんでいます。



勤務先： 八街学園

職 種： 自立支援
コーディネーター

経 歴： 2009年4月入職

入職動機

母親がダンス教室を運営していて、教室内の託児所に預けられた幼児と遊ぶうちに、子どもと触れ合うのが好きになった。大学で児童心理を学び、ボランティアで障害者施設を訪れたのがきっかけで現在のようない仕事を志す。

勤務先：七生福祉園

職 種：福祉（チーフ）

経 歴：2017年4月入職

山本 美沙樹
MISAKI YAMAMOTO

職員はみんな子どものために想っている。
それを、まとめるのがチーフの役目です。

懸命に走り続けた新人時代。 振り返ると成長が実感できる。

入職7年目。知的障害を持った子どもたちの生活支援を続けてきましたが、振り返ると新人時代と今とでは対応が違うことに気づきます。例えば、壁や床にいたずら書きをする子どもに、入ったばかりの頃は真剣に叱らなければならないと判断していました。今なら子どもの何かを描きたい衝動を察知して、紙を渡して自由に表現するサポートをし、さらに描いた絵を褒めるでしょう。そうすれば子どもは紙に描くことを覚え、自然にいたずら書きをしなくなります。子どもたちが育つように、私も現在のチーフ職に至るまで一步一步成長してきたのです。



児童寮の運営に正解はない。 すべてを把握し方向を示していく。



現在は10歳から18歳の子ども21人を、9人の職員が交代でケアし、毎日いろんな職務をこなしています。子どもたちの生活支援から、多感な時期ゆえの心のケア、保護者からの問い合わせへの対応、寮の運営に関する事務作業など、多岐にわたります。その時々で迅速な判断が求められますが、職員一人が背負えない内容となったら、みんな

で相談します。いろんな意見が出ますが、みんな子どもたちのことを想った発言。どれが正解だと決めつけられません。そこでチーフは寮の方向性を示します。職員みんなをまとめる大切な役目を担っているのです。

OFF

バンド活動でドラムを担当。 うまく仕事と両立させています。

以前から女子3人で、フィフティーズのロックンロールバンドを組んでいます。担当はドラム。ファンの待つ地方でもライブコンサートを開きますが、当事業団は寮内の仲間で調整すれば休みが取りやすくて助かっています。



PERSONS 10

入職動機

大学で心理学を学び、卒業後は児童相談所に非常勤で勤務。その時に、この先も長くこの分野で働きたいと考えて転職活動を行い、多くの施設を見学。社会のセーフティネットを担おうとする理念に共鳴し、事業団への入職を決めた。

勤務先：石神井学園

職 種：部門長

経 歴：2004年4月入職

林 将幸
MASAYUKI HAYASHI

今の社会が求める学園の在り方を、
経験と最新知識を融合して追求しています。

一般職員として10年勤務した施設に、
10年ぶりに部門長となって帰還。



私は約20年前に当事業団に入職しました。最初に配属された施設は長い歴史を持ち、懂れていた石神井学園でした。直接支援職員として10年間、子どもと一緒に過ごす日々で充実した日々を過ごし、そしてたくさんの先輩と仲間が育ててくれました。その後、障害児入所施設、障害者支援施設、そして児童養護施設の小山児童学園で様々な役割を担い、多くの経験を重ね、10年ぶりに部門長として石神井学園に帰ってきました。この事業団でたくさんの方に大切に育ててもらってきた今、子どもたちをどう大切にするのかということを追及しています。

時代が変われば施設もアップデート。
常に子どもたちの心の拠り所でありたい。



私は今までの施設の在り方を尊敬しながらも、施設は社会の変化に合わせて在り方を変えていかなければと考えています。子どもたちの環境は10年前と大きく異なります。子どもたちの生きている社会に目を向け、職員は子どもたちの話を聞きながらどのように子どもの意向を叶えていくのか一緒に考えていく必要があります。また、子育てに対する考え方も刻々と変わっていきます。このことを敏感に感じ取り、支援もアップデートしていく必要があります。子どもが地域との差を感じることなく、フェアであると実感できるような施設を目指していきたいです。

OFF

新しく家族になったワンちゃんと、
外出を楽しんでいます。

昨年、家族が増えました。「あん」と名付けたメスのワンちゃんを迎えました。仕事から家に帰ると「どこに行っていたの!？」と怒りながら迎えてくれます。休日になると散歩はもちろん、ワンちゃんの入れるお店を探して一緒に出かけています。



入職動機

高校生の頃から人のためになる仕事をしたいと考え、福祉の世界に興味を持ち、大学は社会福祉学科を選択。就活の厳しい時代だったが、事業団には知的障害者を支援する町田福祉園（現在は民間移譲）の立ち上げ時期に入職。

勤務先：千葉福祉園

職 種：副園長

経 歴：1999年4月入職

渡辺 和美
KAZUMI WATANABE

副園長として担う大型施設の運営管理業務に、利用者と接する現場経験が息づいています。

施設運営から職員100人の管理まで多彩な職務を担う副園長。



入職してこの春（2023年）に24年目を迎える私は、現在は千葉福祉園の副園長を任されています。園長をトップに、私ともう一人の副園長、その下に部門長やグループリーダーが10名ほど。以上の管理職で約200名の職員をマネジメントしています。利用者数は約240名。中軽度の知的障害者の方々です。職員たちが現場で悩んだ際などの相談はグループリーダーが受けていますが、グループリーダーが判断に悩んだ際には、相談を受け、助言をしたり、判断することもあります。また、施設全体の運営や設備改善なども副園長の役割です。

現場を担う職員も、管理職も何よりも利用者目線が大切。



私は町田福祉園の職員から始まって、東村山福祉園、希望の郷、そして現在の千葉福祉園と異動してきましたが、現場上がりであることに誇りを持っています。今も現場が大好きです。年に2回、職員との面談があり、そこで仕事のスキルアップやキャリア形成についての相談を受けていますが、原則として常に利用者目線で考え、そこから自分の成長目標や仕事への取り組み方を決めて行きたいといつも答えています。そうすることで利用者との距離が縮まり、日々の対応の中で小さな発見や変化に気づき、福祉職員としての成長が引き出されるのです。

OFF

ダイビングと野球観戦で、プライベートが充実しています。

2001年に始めたダイビングが趣味で、伊豆や沖縄はもちろん、グアムやハワイでも潜りました。海中の浮遊感が好きです。また、NPBのライオンズのファンで、東村山の施設に勤務していた頃は所沢のスタジアムが近く、シーズン中は週に4回観戦することがありました。



PERSONS 12

入職動機

大学の社会福祉学部で児童福祉を専攻。民間の福祉施設の事務職員に就職したが、そこで福祉職員たちの奮闘に触れていくうちに障害をお持ちの方と垣根なく自然に接する自分に気づき、そこに自らの天職があると確認。心機一転し、福祉職員のキャリアをスタートするために事業団に転職した。

勤務先： 小山児童学園

職 種： 園長

経 歴： 1998年4月入職

山中 茂幸
SHIGYUKI YAMANAKA

職員たちと、子どもたちの毎日の安心を支える、
理想の児童学園の運営を追い続けています

子どもたちの自主性を引き出すために 生活ルールの緩和方針を進めて行く。

私が園長を務める「小山児童学園」は、昭和20年に事業を発足（開始）し、都立児童養護施設として70年を超える歴史を持っています。この長い学園の歴史の中で、誇れることは、時代の流れや地域の一般家庭での生活環境・スタイル等の変化を、学園での生活・暮らしに柔軟に取り入れてきたことです。例えば、どこの児童養護施設よりもいち早く子どもたちが携帯電話を持てるようになったのは、その一例です。近年は、学園内の生活上のルール・約束事はできるだけ少なくし、子どもたちが自分で考え、（困った時には職員に相談しながら）出来る限り自分の行動を決めていく力を養うことを大切にしています。



子ども達の人生のターニングポイントに、 立ち会える喜びがある。



私は園長としての役割を、子どもたちの生活を支えている職員が、安心して子どもたちの支援ができるよう、学園運営の方向性を明確に示していくことだと考えています。また、職員が支援で悩んだ時には、子どものことを大事にした支援をし続けることができるよう、そっと後押しをすることも大切にしています。私自身

も子どもたちと触れ合う機会はたくさんあります。学校から帰ってきた子どもたちが、園長室に顔を見せてくれたり、子どもたちと一緒に外出に出掛けたりと…そんな彼ら彼女らの進学や就職が決まった時などは、共に過ごしてきた時間を思い起こしながら感無量になります。

OFF

トレイルランニングの大会に向け、 長距離を走って練習しています。

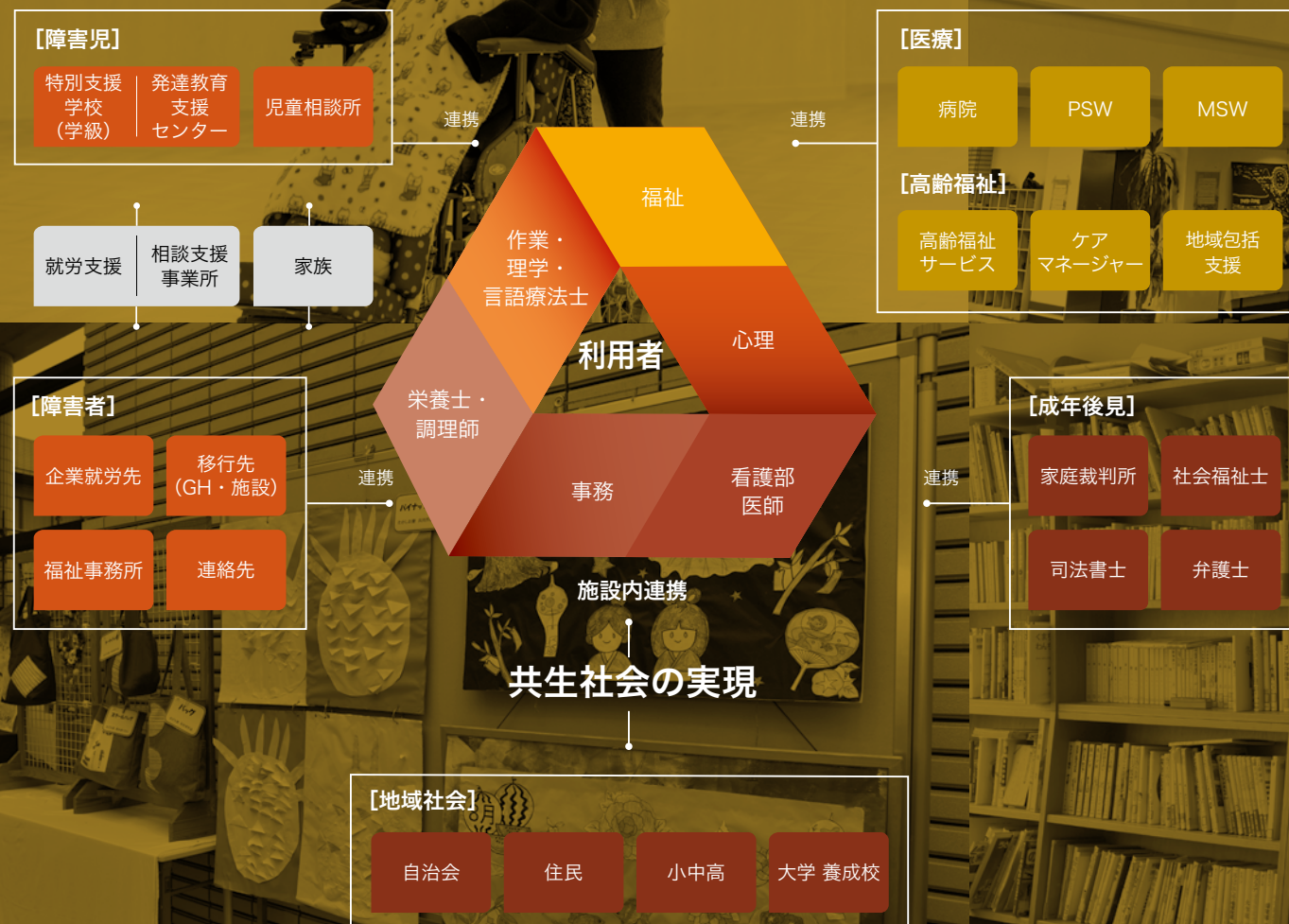
以前は息子の少年野球チームの監督をしていましたが、息子が少年野球を卒団したのとあわせて後任の方と交代しました。今は週末になれば土日とも20kmほどランニングしています。いつかはトレイルランニングの大会にチャレンジしたいと考えているので、練習には力が入っています。



REWARDING JOB

福祉専門職としての**障害施設**の仕事の魅力

日常生活を支え、もっとも寄り添う立場で
社会資源や機関との繋ぎ役を担います



社会資源の繋ぎ役として

施設の仕事というと介護業務をイメージするかもしれませんが、その実態は違います。日常生活の支援を通じた安心安全な暮らしと生きる楽しさを提供することはもちろんですが、一人ひとりの利用者様の自己実現に必要な社会資源との連携の繋ぎ役も担っています。

最も身近でより添う役割

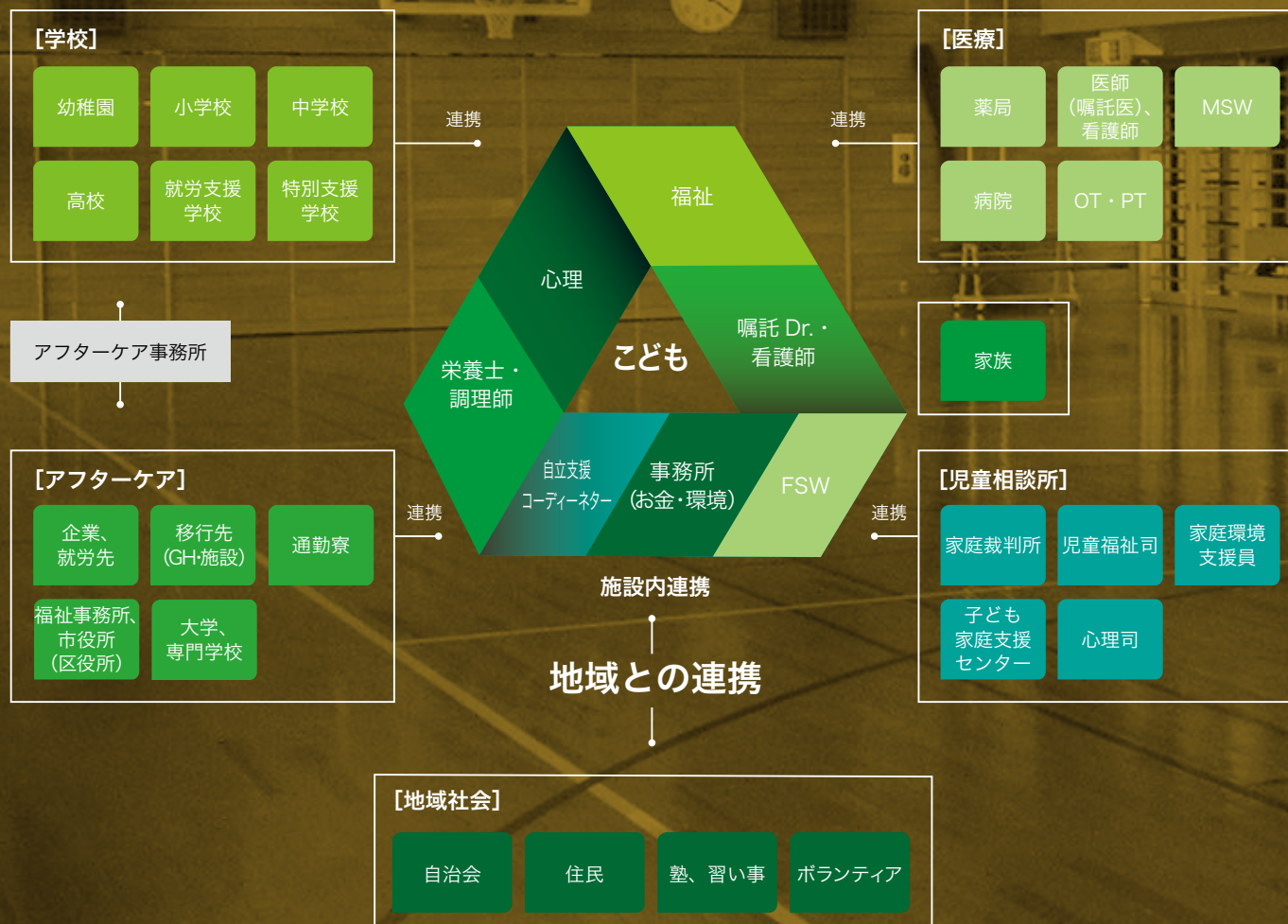
障害分野には多くの役割がありますが、利用者様の24時間を包括的に支援する施設職員は利用者にとってもっとも身近に寄り添う立場になることが多く、必然的に連携する機関や社会資源も多くなります。

職員として、日常生活支援を通じたケアワーク技術の獲得と併せ、個々の利用者の支援を通じた実践的なケースワークの経験を積む機会に恵まれます。なにより利用者の皆様の笑顔や成長に喜びを感じながら、日常的に寄り添った実践を通じた幅広い福祉分野との連携を経験し、福祉専門職としてのスキルアップが図れます。

共生社会の実現の一步として

事業団の施設は地域とのつながりを大切にしています。福祉分野でのつながりだけでなく、地域住民とともに取組む施設のお祭や、地域のイベント等に参画することなど、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。

利用者様と職員の積極的な地域参画は、地域における障害児・者理解のきっかけとなっており、日常的に共生社会の実現に取り組めることも、東京都社会福祉事業団で働く上での魅力といえます。



子どもたちの一番の味方でありたい

児童養護施設で生活を送る子どもたちは、壮絶な環境を乗り越えてきた子どもたちです。児童養護施設の職員は、大人に対する不信感がいっぱいの子どもたちにとって信用できる大人の一人になることが求められます。素敵な大人へと育てもらうためには、大事にされる経験が必須です。職員は日々の支援の中で「何があっても、あなたの味方。」というメッセージを伝えています。毎日の掃除、洗濯、食事提供など間接業務と言われる仕事を丁寧に行うことで「大切にされている」と感じてもらいたいと思っています。「あなたが大切。あなたの味方。」というメッセージを生活の中にちりばめ、時にはぶつかり、時には見守り、素敵な大人に育てくれるよう支援を行っています。

地域で生活できることを目指して

多くの子どもたちは家庭へ帰りたいと願っています。子どもたちの望む家庭へ帰れる日まで、又は施設から自立していく日まで、職員は安全かつ安心した生活ができるよう支援しています。子どもたちが夢を見つけ、その夢を実現できる力をつけてもらいたいと願いを込め、職員のみならず学校やボランティアなど、地域の関係機関と連携を取りながら支援を行っています。時には、日々の生活を支援している中で、職員の言葉が子どもたちに届いていないと感じることがあります。しかし、家庭へ帰った後、又は地域で生活するようになった後に、子どもたちから「あの時の職員の言葉が、今、支えになっている」という言葉をもらうことがあります。施設での仕事は、「今」の私たちの支援が「未来」の子どもたちの支援に繋がっていると感じることができる、極めて魅力的な仕事です。

地域とともに生きる

事業団の施設は、地域とのつながりを大切にしています。福祉分野でのつながりだけでなく、地域住民とともに取り組む施設のお祭や、自治会のイベント等に参加することで、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。このように、子どもたちや職員が積極的に地域の方々となつながりを持つことは、地域住民の方々から子どもたちが見守ってもらうきっかけとなっています。そうした環境から得られる子どもたちの安心感は、職員にとってもありがたいことです。地域とともに子どもたちを見守り育てていけることは、児童養護施設の魅力ともいえます。

TIMETABLE

1日の流れ

【児童養護施設】

児童

起床

目覚めてから歯磨き、登校の準備も済ませ、着替えを行ってから食卓につきます。

朝食

みんなで食卓を囲み、美味しく朝食を取ります。

学校へ登校

職員たちに見送られて、施設の仲間たちと一緒に学校に向かいます。

昼食

まだ幼稚園や学校に通わない未就学の子どもは施設で昼食を取ります。

幼稚園児・小学生が帰宅

幼稚園や小学校の子どもたちが続々と施設に帰ってきます。職員たちに出迎えられます。



● 6:30

● 7:15

● 7:40

● 12:00

● 15:30

職員

早番 >

● 6:15 (出勤)

遅番 >

● 13:15 (出勤)

夜勤 >

● 9:30 (退勤)

● 14:45 (出勤)

出勤・退勤

3種類の勤務体系があります。業務を終えた職員から引継ぎを受け子どもたちの様子を確認します。

朝食準備

朝食の支度を行い、子どもたちと一緒に食事をします。食育も大切な支援の一つです。

学校へ送り出し

子どもたちの持ち物など登校の支度状況を確認し、幼稚園や学校へと送り出します。

環境整備

職員間で朝礼を行った後で、子どもたちが登校している間に、洗濯や子どもの居室の清掃を行います。

昼食準備

未就学児童の昼食を準備し、一緒に食事を楽しみます。

引継ぎ

「夜勤から早番へ」「早番から遅番へ」など職員同士で情報共有をし、子どもたちの様子を確認します。

下校対応

施設に帰宅してきた子どもたちを出迎え、会話をしながら宿題や提出物などの確認を行います。

※上記の出勤・退勤時間は施設によって異なります。

【障害児・者施設】

利用者

起床

目覚めてから歯磨きや着替えをし、食堂へ行きます。

朝食

朝食を取ります。

日中活動や学校へ

障害児は職員たちに見送られて、施設の仲間たちと一緒にバスで登校。成人は軽作業など日中活動に入ります。

昼食

未就学児や高卒後の児童、利用者は日中活動から戻り昼食をいただきます。また、利用者は通所先で昼食を取ることもあります。

日中活動

障害の程度に合わせた軽作業などの日中活動を行います。

● 6:30

● 7:15

● 8:30

● 12:00

● 13:00

早番 >

● 7:00 (出勤)

日勤 >

● 8:45 (出勤)

遅番 >

● 12:45 (出勤)

夜勤 >

● 9:30 (退勤)

職員

出勤・退勤

4種類の勤務体系があります。出社後は利用者に起床の声かけをし、着替えや歯磨きを支援します。障がい児童には登校準備をサポートします。

朝食準備・支援

朝食の支度を行い、食堂で利用者の食事を介助します。食後の服薬サポートも行います。

日中活動フォロー

平日はホールで行われる軽作業などの日中活動やリハビリを支援します。

昼食準備・支援

食堂にて食欲の変化などを確認しながら昼食の介助を行います。

引継ぎ

それぞれ勤務を終えた職員から利用者たちの様子について引継ぎを受けます。

棟内見守り・散歩・日中活動送迎

自由に動ける利用者の安全のために、目を届かせます。また車イスを押しての散歩やデイサービスの送迎等も行います。



※上記の出勤・退勤時間は施設によって異なります。

遊びや宿題

お風呂の時間までは、グラウンドで遊んだりするなど思い通りに過ごします。宿題も済ませます。

休日の過ごし方

午前中は宿題を片付けてからは自由時間。昼食はみんなで大いただきます。午後もしのんびりに過ごします。

お風呂

順番にお風呂に入ります。幼いうちは職員が着替えを助けます。

夕食

みんなで夕食を取ります。行事などにあわせて、季節のメニューが出ることもあります。

自由時間

消灯までは自由時間。宿題の残りをする子も、テレビ番組を楽しむ子も、職員と会話をしむ子もいます。

消灯

歯を磨き、明日の準備を行い、着替えてから就寝します。

● 18:00

● 21:00



● 22:00 (退勤)



入浴支援・夕食準備

入浴と夕食に向けた準備を子どもたちと一緒にしています。献立を考え、食材の買い出しや調理も行います。

寮内整備

洗濯や夕食後の食器の洗い物などを済ませます。

順次消灯を呼びかけ

小学生以下の子どもたちは就寝時間。子どもたちの入眠を促します。

中高生と個別時間

学校の部活動などで遅く帰ってきた中高生に夕食を出し、学校での出来事や将来の事等を話し合う貴重な時間帯です。

見回り・事務作業など

子どもたちの健康等に異常がないか居室を巡回します。朝までに事務作業も済ませます。

お風呂

順番に入浴します。入浴後は自由時間をのんびりと過ごします。



休日の過ごし方

休日は自由時間が沢山あります。ドライブや職員と一緒に近隣に買い物に行く等、思い通りにゆったりと過ごします。

夕食

夕食を取ります。行事などにあわせて季節のメニューが出ることもあります。



消灯

明日の準備を行い、歯磨きや寝巻きへ着替えを行ってから就床します。

● 16:30

● 18:00

● 21:00

● 15:45 (退勤)

● 17:30 (退勤)

● 21:50 (退勤)

● 16:30 (出勤)

入浴支援

利用者の入浴の介助を同僚と協力しながら行います。重度の障害者の場合は入浴リフトを使用します。



夕食準備・支援

買い出しや調理を行って夕食を準備し、利用者の食事の介助を行います。



就寝準備・支援

消灯時間が近づくと、利用者の歯磨きや着替えを手伝うなど、就寝準備を支援します。

見回り・事務作業など

利用者の健康等に異常がないか、居室を巡回します。また、空いた時間には事務作業を行います。



人材育成・キャリアプラン

東京都社会福祉事業団は人材育成、キャリア制度、処遇、福利厚生、業界トップレベルの待遇を整えています。

■事業団人材育成の3本柱



OJT

■チューター制度があります

新任職員ごとに先輩職員(チューター)が付いて職務の指導や相談、助言を行う制度があります。

[チューターの役割]

- ・園長・副園長・部門長、グループリーダーや各現場のチーフと連携しながら、新任職員に対して担当職務に必要な知識・ノウハウ・心構え・規律に関することについて日々直接指導します。
- ・チューターは新任職員にとって一番身近な存在として、精神面を支援するメンターとしての役割を担います。

[新人職員のメリット]

- ・気楽に遠慮せず、なんでも質問や相談ができる。
- ・誰に質問や相談をすべきか明確になっている。
- ・職務以外のことも相談でき、精神的にも支援してもらえる。
- ・仕事の進め方やノウハウを的確に指導してもらえる。
- ・身近なチューターの仕事ぶりを見て、手本や目標が得られる。
- ・職場環境に早くなじめる。

OFF-JT

■充実した研修制度があります

- ・採用時、1級、2級、3級、4級と昇任に合わせて必要なスキルを学ぶ研修、メンタルヘルスケア、クレーム対応、人権問題・虐待防止、コンプライアンスなどの課題別研修、その他にも多くの研修メニューが用意されています。
- ・事業団内部の研修の他に、東京都や東京都人材支援事業団、東京都社会福祉協議会などの外部研修の受講の機会もあります。
- ・障害者支援職員研修のサポーターズ・カレッジ(オンライン)も受講できます。



証言 VOICE

私のように保育だけを勉強していて、障害者福祉や児童養護について学んでいない人も大丈夫。新人研修は充実していますし、チューター制度があるから安心して飛び込んでください。

K.E.(千葉福祉園)



SDS

■自己啓発支援制度があります

職員の自己啓発を支援するため社会福祉士や介護福祉士、臨床心理士、公認心理師、保育士、精神保健福祉士、管理栄養士など職務と関連する資格の取得や、組織運営、リーダーシップ、問題解決・論理的思考等をはじめとする各種通信教育講座の受講に対して支援を行う制度です。

[資格取得のための経費を支援]

①資格試験受験料

職務に関連する資格取得のための経費を支援します。試験に合格すると(不合格の場合は翌年度に「再チャレンジすること」を条件として)負担額の100%または75%(交付割合は資格によって決まっています)に相当する金額を支援金として交付します。

②必須講習受講料(上限30万円)

資格取得の受験資格を得るために養成校や講習会に通う場合、その費用を支援します。ただし、養成校等の受講修了時に事業団職員として在職していること、資格取得試験を受験することが要件となります。

③対策講座受講料(上限6万円)

試験に合格することを目的として受講した講座の受講料

★令和5年度はこの制度を利用して17名が公認心理士、社会福祉士、介護職員実務者研修課程修了、精神保健福祉士、介護福祉士などの資格を取得しました。

ライフワークバランスの取組みなど、公的役割を担うにふさわしい

証言VOICE

責任のある立場に立って事業団全体に貢献していきたいという成長意欲を持った職員に、公平なキャリアプランが用意されています。ぜひ挑戦してください。

S.Y（希望の郷 東村山）

【通信教育講座受講料を支援】

自主研修として、職員が勤務時間外において職務と関連する通信教育講座を受講するための受講料を支援します。当該年度内に対象講座を修了した場合は、受講料の100%または50%に相当する額を支援金として支給します。

■研究発表等

職務を通じて得た知識や取組を様々な場面で発表できます。
例：全国社会福祉事業団協議会の実践報告・実務研修論文、東京都福祉保健医療学会、事業団の事例発表会など

※令和4年度は、東京都福祉保健医療学会で優秀賞と奨励賞を受賞しました。

福祉職正規職員選考 受験資格一覧

（児童養護施設）

- ・保育士
- ・児童指導員任用資格
- ・社会福祉士
- ・精神保健福祉士

（障害者（児）施設）

- ・介護福祉士
- ・保育士
- ・児童指導員任用資格
- ・社会福祉士
- ・精神保健福祉士
- ・訪問介護員養成研修1級課程または2級課程
- ・介護職員初任者研修課程
- ・実務者研修課程

※「児童指導員任用資格」は小学校・中学校・高等学校の教員免許を有する（見込み）の人は有しています。

※上記の資格がない場合でも、契約職員として入職が可能です。入職後、【介護職員初任者研修受講支援】制度を利用することで、働きながら資格を取得し、正規職員になるための内部選考が受けられます。

■入職後のキャリアプラン

正規職員	職級	職名	職責	年数 (昇任選考、資格基準)
	5 級	ジェネラル マネージャー	【管理業務】 ・園長等の職に就き、施設の責任者として、施設運営を総括する。	—
	4 級	マネージャー	【統括監督業務】 ・園長(又は課長等)の命を受け、各部門(支援部門、管理部門等)の統括や施設横断的課題等に対応し、所属職員を指揮監督する。	4 年以上
	3 級	サブ マネージャー	【監督業務】 ・グループリーダー等の職に就き、園長・部門長等の命を受け、担当グループの統括や施設横断的課題等に対応し、一般職員を指導監督する。	3 年以上
	2 級	一般職員	【判断・指導業務】 ・担当業務に精通し、業務に関する高度な知識及び経験をもとに、応用的判断を要する業務を遂行する。 ・自己の経験を活かし、新任職層等を指導する。 ・寮(棟)の責任者や各種委員会の委員長など中心的役割を担うことができる。	3 年以上
	1 級	一般職員	【一般業務】 ・担当業務に精通し、業務に関する知識及び経験をもとに、日常の一般業務を独立して遂行する。 ・自らの業務について、問題解決技法を身につけ、業務の改善や問題解決を実践する。	2年以上(1年) ※()内は前歴加算の場合の最短期間
契約職員			【定型業務】 ・管理監督者等の指示の下、担当業務を理解し、日常の定型業務を独立して遂行する。	1 年以上

正規職員採用選考
(毎年度1回秋に実施、契約職員1年目から受験可)

給与・福利厚生・各種制度

■キャリア制度と給与

選考に基づくキャリアアップの機会が保障されており、勤務成績と職務経験に応じた人事・給与制度になっています。

職級	職名	モデル年収（一般採用）
1級職	一般職員	1年目 496万円
2級職	一般職員	3年目 521万円
3級職	サブマネージャー	8年目 559万円
4級職	マネージャー	15年目 717万円 20年目 778万円
5級職	ジェネラルマネージャー	

【モデル年収の前提】

- ・児童指導員等の有資格者。一般採用は大卒後1年目の採用、キャリア採用は大卒後経験5年での採用
- ・給料月額、初任給調整手当、夜間業務手当・夜勤手当(月5回夜勤を行う想定)、職務手当、期末・勤勉手当(成績中位)により計算。通勤手当、住居手当、非常時対応手当、超過勤務手当扶養手当などを別途支給
- ・毎年4号昇給(標準の成績)、1級3年目に2級職昇任、2級6年目に3級職昇任、3級6年目に4級職昇任とした場合
- ・給与改定により毎年度変更があります

■各種手当が充実しています

- 期末勤勉手当（給料月額の4.85月）を6月と12月に分けて支給します。
- ポストに応じた職務手当を毎月支給します。
 - ・4級で部門長のポストに就いている職員⇒月額5万円
 - ・4級又は3級でグリープリーダーのポストに就いている職員⇒月額3万円
 - ・職級に関わらず、業務内容に着目し困難な課題等就いている職員⇒月額1万円
(例として、児童養護施設：棟総括、フロアリーダー、家庭支援専門相談員、自立支援担当職員、障害者(児)施設：チーフ、移行支援担当職員)
- 夜間業務手当（夜勤または宿直1回あたり6,800円）を毎月支給します。
- その他、通勤手当、住居手当、超過勤務手当、扶養手当、処遇改善手当、居住支援特別手当等が別途あります。

例えば

- ・令和7年4月に採用された4大卒正規職員が良好に勤務を継続し、採用から3年目に2級職職員だった場合に見込まれるモデル年収は約521万円。
- ・8年目にサブマネージャーになっていた場合のモデル年収は約559万円。
- ・15年目にマネージャーになっていた場合のモデル年収は約717万円（20年目で約778万円）になります。



証言VOICE

昇格すればするほど、責任の大きな職務を任せられますが、それには毎月の職務手当で応えてくれます。昇格へのモチベーションにもなりますね。

M.H.（石神井学園）

■ワークライフバランスに配慮した充実の福利厚生制度

【休暇・休業・休職等】

- 年次有給休暇を、採用当初に15日、次年以降20日を付与（翌年繰越可）
- ・一部時間休取得可
- 夏季休暇 5日付与
- そのほか、病気休暇・休職、慶弔休暇、生理休暇、ボランティア休暇、長期勤務休暇、災害休暇、配偶者同行休業・自己啓発等休業（自発的修学、国際貢献等）など、各種休暇・休業・休職制度あり

【子育てなど】

妊娠中における休暇制度

- ・母子保健健診休暇
- ・妊婦通勤時間、妊娠症状対応休暇など

出産前後における休暇制度

- ・妊娠出産休暇(産休)…労基法の定めより2週間多く取得可能
- ・出産支援休暇（男性）…2日以内
- ・育児参加休暇（男性）…5日以内

育児にかかわる休暇制度

- ・育児休業…3歳に達しない子を育てるための制度
- ・育児時間…1歳6ヶ月に達しない子を育てるための制度
- ・部分休業、育児短時間勤務…小学校3年生までの子の育児
- ・子どもの看護休暇…中学就学するまで

介護

- ・介護休暇…介護のための制度
- ・介護時間…1日の勤務時間の一部を使用



証言VOICE

同僚と調整し合ってシフトの都合をつけることで、長期の有給休暇も取得が可能です。

M.T.（希望の郷 東村山）

左記のように育児又は介護を行う職員の時間外勤務の免除・深夜勤務の制限、など、働き続ける職員を支援するためのさまざまな制度があります。

取得率

●育児休業

(令和5年度取得率女性100%男性50%)

●出産支援休暇

(令和5年度取得率 男性92.9%)

育児参加休暇

(令和5年度取得率 男性71.4%)

■大学・専門学校等で貸与型奨学金を得て就学し、福祉資格を取得した後、福祉職として採用となった方を対象に、採用5年目までの奨学金の返済を支援します。

- ・支援金として月額1万円(奨学金返済額の方が少ない場合は奨学金返済相当額)を年度末に一括で給与とは別に交付します。
- ・採用後5年間返済支援を継続した場合、最大で総額60万円の交付となります。

以下の貸与型奨学金が対象となります。

- ・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)
- ・地方公共団体
- ・学校等(大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校)



証言 VOICE

返済の義務がある奨学金をもらって大学に通って、福祉資格を取得して採用された職員には、奨学金の返済を事業団が毎月1万円分を5年間にわたって交付してくれますよ。

H.S. (東村山福祉園)



■「職員住宅」または「借り上げ住宅」があります！

【住まい】

- ・職員住宅は小山児童学園を除く児童養護施設と七生福祉園、八王子福祉園、千葉福祉園にあります。

※八王子福祉園については、建設工事期間中は宿舎について一部変更があります

- ・借り上げ住宅は立川療護園 はごろもの音、希望の郷 東村山、東村山福祉園にあります。

※職員住宅使用料：(単身)10,000円程度/月額(家族)15,000円程度/月額

※借り上げ住宅使用料：賃料等月額82,000円まで物件で職員負担は賃料等の10%

賃貸住宅にお住まいの方のために「住居手当」「非常時対応手当」があります。

※住居手当 月額15,000円(年度末35歳未満の職員が世帯主である場合)

※非常時対応手当月額20,000円(受給期間上限6年)

- ・非常時対応手当は非常時における職員体制を確保するため、職員住宅の状況を勘案して勤務地ごとに定める必要人数の範囲内で、対象の職員に対して支給されます。
- ・住居手当は東京都準拠、非常時対応手当は事業団独自の制度です。



証言 VOICE

住まいの心配をしなくても良いのが事業団に入職する魅力の一つです。私は施設近くの借り上げ住宅に家賃がたったの1割負担で入居することで、ワークライフバランスを充実させています。

M.K. (立川療護園 はごろもの音)



●福利厚生事業が充実しています。

東京都人材支援事業団準会員として、同じ福利厚生事業が利用できます。例として、祝金や見舞金の支給、旅行料金の割引、育児・介護支援(ベビーシッターの割引等)、健康づくり支援(スポーツクラブの割引等)、相談室の利用(法律・税・ライフプラン・育児・介護・心の健康等)など、様々なメニューがあります。

●職員のための相談窓口が充実しています。

仕事や職場の悩みを、職場以外の窓口でお聞きします。(事務局本部と外部にあります。)また、心理的な悩みをお聞きして、助言や医療機関等を紹介するメンタルヘルス相談窓口があります(医療法人が実施)。そのほかにも、複数の相談先があります。



石神井学園



<https://www.jigyodan.org/shakujii-gakuen/>

設置年月
明治42年

所在地
〒177-0045 東京都練馬区石神井台 3-35-23

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設(定員130名)
地域小規模型グループホーム
地域子育て支援事業

**子どもたちに寄り添い、明るい未来を支える
セーフティネットとしての役割を担っています。**

石神井学園は、渋沢栄一による前身の養育院の創設から100年を超える歴史を持ち、児童数や敷地面積など都内屈指の規模を誇る児童養護施設です。現在では、特別な支援が必要な児童の受け入れを積極的に行い、社会的養護を担うセーフティネットとしての役割を果たしています。また、生活支援、医療、教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能モデル事業」や地域に密着した宿泊型の一時保育「ショートステイ事業」にも取り組んでいます。



小山児童学園



<https://www.jigyodan.org/koyama-gakuen/>

設置年月
昭和25年

所在地
〒203-0041 東京都東久留米市野火止 2-22-26

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設(定員64名)
地域小規模型グループホーム

**特別な支援が必要な児童も受け入れ、
一人ひとりに応じた支援を行なっています。**

医療機関や特別支援学校が近隣に位置する立地条件を活かし、病虚弱や情緒障害のための医療支援や被虐待等の心理的ケアを必要とする児童、そして情緒・行動上の問題を抱える中高生児童の受け入れを積極的に進めている小山児童学園。「職員の良好なチームワークこそが子どもたちの安定した生活を支える」という強い信念のもと、職員一丸となって日々の課題に取り組んでいます。



船形学園



<https://www.jigyodan.org/funakata-gakuen/>

設置年月
明治42年

所在地
〒294-0056 千葉県館山市船形 1377

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設（定員64名）
地域小規模型グループホーム

子どもたち一人ひとりの意志や個性を尊重し、
未来への意欲を持てる環境を整えています。

館山湾が目の前に広がる南房総の自然豊かな高台に立地する船形学園。前身の養育院安房分院は明治42年に開設されており、100年以上にわたって様々な理由により保護者の養育を受けられない児童を預かってきました。令和の今も時代の求める多様化した養護ニーズを捉え、子どもたちが将来に向かって安心して歩める安定した生活環境を整えて、健全な成長と社会に巣立つまでの自立を支援しています。



勝山学園



<https://www.jigyodan.org/katsuyama-gakuen/>

設置年月
昭和21年

所在地
〒299-2115 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 1469

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設（定員64名）

家庭的な雰囲気の中で養育を行い、
子どもたちの健全な成長を促しています。

気候が温暖で海と山に囲まれた自然豊かな勝山学園では、様々な事情から家庭での生活が困難になった児童をお預かりしています。その運営方針は、「児童本位のサービスの徹底」、「人材育成と運営体制の強化」、「地域との連携強化」です。児童一人ひとりの自己肯定感を育みながら、家庭的な養育に徹し、情緒の安定と生活習慣や社会性の習得を自然に促すことで、健全な成長を支援しています。



八街学園



設置年月
昭和21年

所在地
〒289-1103 千葉県八街市八街に151

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設（定員64名）

<https://www.jigyodan.org/yachimata-gakuen/>

**一人ひとりの個性や主体性を尊重しつつ、
社会適応能力の獲得にも注力しています。**

八街学園では、様々な理由により家庭で生活することが困難な児童を預かり、保護者に代わって養育し、将来に向けての自立や家庭復帰を支援しています。児童一人ひとりのプライバシーを尊重して個室を与え、児童と職員が話し合っ生活のルールづくりを行うなど自立心の養成を図る一方で、高校生を中心とした高齢児には社会適応能力の向上を目的とした就労体験や自活訓練なども実施しています。



片瀬学園



設置年月
昭和25年

所在地
〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬 4-9-38

事業種別
・指定管理事業 児童養護施設（定員48名）

<https://www.jigyodan.org/katase-gakuen/>

**子どもたちの意向に耳を傾け、個性や能力に応じた
自立を目指し支援を行っています。**

片瀬学園では、幼児から高校生までの、様々な事情により入所前の養育環境から離れて暮らす児童の生活支援を行っています。近くに江ノ島があり、湘南の潮風と陽光の中で、子どもたちは地域の方々と触れ合いながら幼稚園や学校に通い、伸び伸びと育っています。その運営方針は、子どもたちが社会に出てから自分の意志で未来を築いていくことを目標に、自己決定を尊重した子ども本位のサービスであることです。



八王子福祉園



- 設置年月**
昭和47年4月
※令和8年度より仮設移転予定
- 所在地**
〒192-0153 東京都八王子市西寺方町 76
- 事業種別**
- ・指定管理事業 障害者支援施設(施設入所支援定員160名、生活介護定員180名)短期入所事業10名
 - ・自主事業 一般相談支援事業、特定相談支援事業

<https://www.jigyodan.org/hachioji/>

**利用者一人ひとりの笑顔を引き出せる
きめ細かい支援サービスを追求しています。**

八王子福祉園は重度・最重度の知的障害者施設です。「一人ひとりの笑顔を大切に」という理念のもと、「利用者本位のサービス」「地域との連携」「職員のやりがい」の3つの運営方針を定めています。利用者個々の状況に合わせた生活環境を整え専門的な支援を行うとともに、利用者の笑顔を引き出すべく多様なプログラムによる日中活動を行っています。開設から50年あまりが経過し、現在建て替えに向けた取組が本格的に進んでいます。



千葉福祉園



- 設置年月**
昭和18年開設 児童部門：昭和23年 成人部門：昭和35年
※児童部門は令和7年3月をもって事業終了
- 所在地**
〒299-0241 千葉県袖ヶ浦市代宿 8 番地
- 事業種別**
- ・指定管理事業 障害者支援施設(施設入所支援、生活介護(定員320名)福祉型短期入所事業

<https://www.jigyodan.org/chiba/>

**自然あふれる広大な生活環境の中、
利用者視点の支援サービスを提供しています。**

房総の自然豊かな広大な丘陵地に、全国でも有数な大規模施設を運営している千葉福祉園。約200名の中軽度の知的障害者が暮らす敷地内には、生活寮14棟の他、総合訓練センターや健康管理室、プール、グラウンドが揃っています。この静かで穏やかな生活環境の中で、安全安心かつ質の高い支援の提供を目指す職員や専門職(言語聴覚士、心理療法士、理学療法士)が、個別支援計画に沿って利用者視点に立ったサービスを提供しています。



七生福祉園



<https://www.jigyodan.org/nanase/>

設置年月

児童部門：昭和27年 成人部門：昭和38年

所在地

〒191-0042 東京都日野市程久保 843

事業種別

- ・指定管理事業 障害者支援施設[施設入所支援定員150名、生活介護定員144名、就労移行支援定員14名、自立訓練(生活訓練)定員6名]福祉型障害児入所施設(定員156名)短期入所事業(成人、児童)知的障害者短期入所事業(公益)
- ・自主事業 共同生活援助事業、特定相談支援事業、知的障害者就労支援事業・地域生活援助事業(公益)

利用者本位のサービスを徹底するとともに、セーフティネットを担い地域福祉を支えます。

七生福祉園は、東京ドーム3.7個分の広大な敷地に、児童・成人を合わせて約300名が暮らす中軽度の知的障害者支援施設です。「利用者本位のサービスの徹底」や「セーフティネットとしての強化」、「地域福祉の向上」等を掲げ、施設入所支援の他にも短期入所事業やグループホームの運営、就労移行支援、相談支援、ショップの運営など、障害をお持ちの方が地域で暮らすために数々の取り組みを行っています。



東村山福祉園



<https://www.jigyodan.org/higashimurayama/>

設置年月

昭和47年（令和5年改築）

所在地

〒189-0012 東京都東村山市萩山町 1-35-1

事業種別

- ・指定管理事業 福祉型障害児入所施設(定員80名)短期入所事業日中一時支援事業(東村山市、東大和市、小平市)
- ・自主事業 特定相談支援事業、障害児相談支援事業

障害の重い児童も笑顔になれるように、「やりたい」「できた」を大切にしています。

東京都東村山福祉園は、知的障害が重いために支援度が高く、医学的なケアを必要とする児童を対象に設立されました。現在も強度行動障害や重度の自閉症、てんかん等を有する重度・最重度障害児をお預かりし、子どもたち一人ひとりの「やりたい」「できた」を大切に療育に力を注いでいます。そうして子どもたちが本来持っている力を引き出すことで、笑顔あふれる生活を提供しています。



希望の郷 東村山



<https://www.jigyodan.org/kibounosato/>

設置年月

平成30年4月

所在地

〒189-0012 東京都東村山市萩山町 1-35-1

事業種別

・自主事業 障害者支援施設(施設入所支援定員 80名、生活介護定員110名)短期入所事業、共同生活援助事業、特定相談支援事業

利用者の想いや願い、希望をかなえられる、地域社会に開かれ、地域福祉に貢献する施設を目指しています。

希望の郷 東村山は、18歳以上の成人の重度・最重度知的障害者を支援していくために、平成30年に開設した施設です。利用者の好みやプライバシー、障害特性などに応じた生活環境(空間)となるよう居室はすべて個室にし、利用者本位の施設の実現にまい進しています。また、施設内の地域交流室や多目的ホールなどを活用した地域交流、最重度知的障害者を対象としたグループホームの運営など、地域に開かれ、地域福祉に貢献できる施設作りに取り組んでいます。



立川療護園 はごろもの音^ね



<https://www.jigyodan.org/>

設置年月

令和5年5月24日(日野療護園から移転)

所在地

〒190-0021 東京都立川市羽衣町 2-63

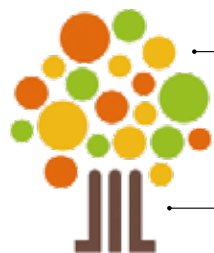
事業種別

・自主事業 障害者支援施設(施設入所支援定員50名、生活介護定員70名)短期入所事業6名、一般相談支援事業、特定相談支援事業

**モットーは“「私らしく」いられる場所”
万全の設備で充実したサービスを提供します。**

立川療護園はごろもの音は事業団で唯一の重度身体障害者施設です。前身施設である日野療護園が令和5年5月に立川市に移転し、地域に根付いたサービスを提供していくため施設名も新たに運営を開始しました。最新の支援設備や整った生活環境と蓄積してきた豊富な支援ノウハウにより、一人ひとりが人生の主役であることを尊重した、利用者も職員も“「私らしく」いられる場所”を構築しています。





色とりどりの「丸い実」は、利用者と職員の夢・希望・幸福を表しています。

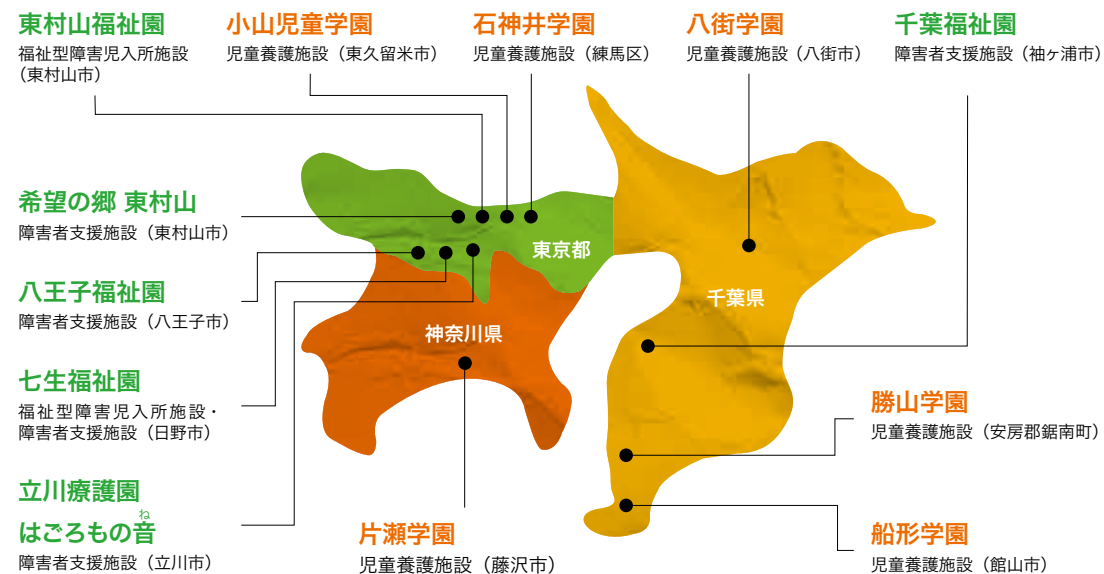
木の幹は、三つの経営理念が一本の柱となっていることを表しており、しっかりと大地に根をおろしています。

事業団がこの木のように、たくましく成長・発展していく願いが込められています。



www.jigyodan.org/

東京都社会福祉事業団の施設



第3版 2025年2月

東京都社会福祉事業団 本部事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-10-1-201
TEL:03-5291-3600